

後藤足袋有限公司

機会を捉えたオリジナルの足袋作りを

ぎょうだの会社を クローズアップ!!



昨年11月、行田市で製造される「行田足袋」が伝統的工芸品に指定され、話題となりました。今回は、創業77年を迎える後藤足袋有限公司をご紹介します。

昭和18年、先代の後藤又二さんが大手足袋メーカーの協力工場として足袋製造をはじめ、昭和28年には後藤足袋有限公司を設立します。

息子の安男さんは昭和46年に2代目として後藤足袋有限公司に入社。「先代の働く姿を子どもの頃から側で見て育ちましたが、いざ工場を手伝うとなると、仕事の手順を覚えるのと工場を切り回すので一杯、夜遅くまで働きっぱなしでした」と安男さん。先代から受け継いだ会社や長年にわたって働く社員のためにひたすら仕事に打ち込みました。

足袋の製造を続けていく中で、映画「のぼうの城」で行田市が注目されると土産物の中でも足袋に注目が集まります。この頃から安男さんは「観光客がせっかく増えているのだから、行田を訪れる方々に足袋製造業者として何かできないだろうか」と考えるようになりまし

た。そんなとき、市内のユニホーム販売会社の社長から「都内の女性が、おしゃれな足袋を探している」という言葉をヒントに、出来上がったのが柄足袋でした。販売したところ、もの珍しさも相まって観光客を中心に好評を得ました。さらに、行田が舞台となった小説「ドラマ『陸王』」で足袋そのものにスポットライトが当たると、安男さんは「感動できるような履き心地の良い足袋を作りたい」と、セミオーダーの足袋を作ること

を思い立ちました。「市内観光で訪れた方に、最初に工場に立ち寄ってもらい、足袋の生地とサイズを選んでもらいます。観光している間に完成させておくことで、行田を訪れた楽しい思い出とともに持ち帰ってもらえたら」と笑顔を見せます。製作には、埼玉県伝統工芸士に認定された娘の来栖智香子さんが携わりま

す。「既製品だと足にフィットしないことがあります。私たちは柄も指定でき履く人の足に合った満足度のいくものを作ります」と熱意をもって製作に取り掛かっています。自分だけの足袋を作ってほしいと生地を持ち込む方もいます。

「昔は市内の路地に入ると当たり前のようにミシンの音が聞こえました。足袋の製造が少なくなりました。今、行田の足袋製造業者として、誇れる伝統的工芸品を作り続けていきたいです」と決意を語る安男さん。真摯に取り組むその姿勢は、これからも行田足袋の伝統を受け継いでくれることでしょう。

会社プロフィール

代表取締役 後藤 安男
 【事業内容】 足袋製造・販売
 【所在地】 佐間2-18-16

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。
 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。

私の作品

俳句

- 矢場 高田みつ子
本を読む手より眠れる炬燵かな
- 持田 岡本 千寿
臨書する文字のびやかに春隣
- 藤原町 斎藤雄次郎
白鳥の飛び立つ前の二十余歩
- 下忍 荒井 王子
相槌を程良くうって花談義
- 忍 伊藤 誠一
雪降るや神に繋がる石畳
- 埼玉 荻原 増夫
赤城山跨いで来たる雪の雲
- 荒木 高澤よね子
くちなしに染めて大根漬けあがる
- 城南 橋本千枝子
生かされて浮世の隅で日向ぼこ
- 柵田町 春田 枕流
事務机少し乱れて六日かな
- 富士見町 鈴木スイ子
独り居の母恋ふ夜の葛湯かな
- 南河原 今村 文女
俳諧は心の伴侶兜太の忌
- 荒木 野口 利夫
大樺膨らむ木の芽天を突く
- 西新町 澤田 信一
立春や迷ひの便り届きけり
- 城西 青木 洋子
初みくじ家の大吉孫をさす
- 忍 大澤 由子
きびしさに耐へ来し紅の梅香る
- 持田 荻原 義久
寒雷や遙か彼方にある故郷
- 柵田町 深野美智子
仏壇に蠟梅供え灯りとす
- 持田 園部 貞雄
老齢の今年限りという賀状
- (三沢 一水 選)

○俳句応募方法 一人3句以内。毎月5日までに、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、はがき・封書で広報広聴課。なお、一部添削して掲載する場合がありますが、不要であれば「添削不要」と記載してください。

イベント

行田春まつり

▼日時 4月12日(日)午前10時～午後4時 ▼場所 水城公園周辺
▼内容 各種催し、行田大茶会(先着順、茶菓子がなくなり次第終了)など ▼園 行田市観光協会(商工観光課内・内線382)

第26回 こどもフェスティバル

▼日時 3月15日(日)午前10時開演 ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」 ▼内容 人形劇「かさじぞう」「ジャックと豆の木」の上演、歌と手遊び、手品など ▼参加無料 ▼主催 こどもフェスティバル実行委員会 ▼後援 行田市教育委員会 ▼園 行田おやこ劇場 ☎090-4209-6046

ふれあい人形劇

▼日時 3月28日(土)午後1時30分～3時30分 ▼場所 児童センター遊戯室 ▼内容 立正大学生らによる人形劇や紙芝居など ▼定員 50人 ▼参加無料 ▼その他 未就学児は保護者の付き添いが必要 ▼申・園 同センター ☎554-15706

忍川クリーンアップ作戦

▼日時 3月27日(金)午前10時～11時※雨天中止 ▼場所 大長寺忍川側あずまや付近 ▼内容 忍川栄橋から旭橋までの600メートル区間のごみを拾い、環境美化活動を行う。 ▼その他 汚れてもよい服装、長靴や運動靴などでご参加ください。軍手、タオル、ビニール袋を配布します。 ▼園 行田市市民大学 同窓会忍川環境を見守る会小林 ☎080-11095-3764

古代蓮の里でたいま逃走中！ ～逃げて・逃がって・逃げまわれ～

▼日時 3月22日(日)午前9時～午後4時(午前と午後の部2回実施) ※小雨決行(荒天中止)
▼場所 古代蓮の里、古代蓮会館 ▼内容 某テレビ局で放送の人気番組を古代蓮の里で再現した鬼ごっこバトル(制限時間逃げ切った方には景品を贈呈)
▼対象 【逃走者】 小学3年生以上 【ハンター】 中学生以上
▼定員 【逃走者】 午前と午後各部各30人(先着順) 【ハンター】 午前と午後各部各3人(先着

▼日時 3月16日(月)午後0時20分～0時50分 ▼場所 市役所玄関ロビー ▼曲目(予定) 「早春賦」、「花」他 ▼出演 行田アンサンブル協会 ▼園 改革推進室(内線328)



講座・教室

小学生陸上運動教室

▼日時 毎月第1・3日曜日の午前9時～11時※第1回は4月12日(日) ▼場所 行田グリーンアリーナ ▼内容 走る跳ぶなどの陸上運動の基本を学ぶ ▼対象 小学生 ▼定員 80人 ▼費用 【入会金】2千円【月額】500円 ▼主催 行田市陸上競技協会 ▼園 4月12日(日)午前9時～11時に直接行田グリーンアリーナ ▼園 同協会 大嶋 ☎556-0983 または 森 ☎554-6615

街かどギャラリー



【応募フォームリンク用二次元バーコード】

大正・昭和の繪本とマンガ

▼日時 3月3日(火)～31日(火) 午前9時～午後3時(土・日曜日、祝日を除く) ▼場所 武蔵野銀行行田支店ロビー(行田4-5) ▼内容 子供たちに夢を語った絵本や漫画の展示会

大正ロマン絵封筒展

▼日時 3月3日(火)～31日(火) 午前9時～午後6時※土曜日は午後1時まで(木・日曜日、祝

順) ▼参加費 1回500円(保険料および古代蓮会館入館料を含む) ▼その他 運営ボランティアを募集します(追加のハンターとして出場する場合があります)。 ※参加無料、昼食代支給 ▼園 3月1日(日)から二次元バーコードを読み取り申し込みください。 ▼園 レ・フリーエーション Goda ☎080-12109-9759 【メール】 regyoda@gmail.com

日を除く) ▼場所 ミキ薬局 埼玉行田店(佐間1-27-3) ▼内容 大正時代にブームとなった木版色刷で絵や図柄があらわれた和風封筒などを展示いずれも ▼園 栗原 ☎090-11535-4460